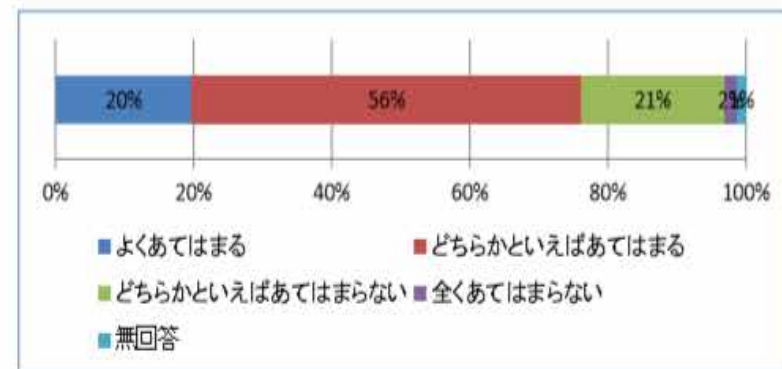
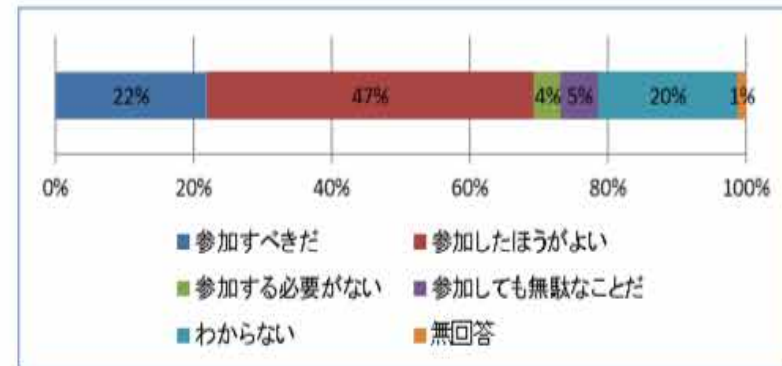
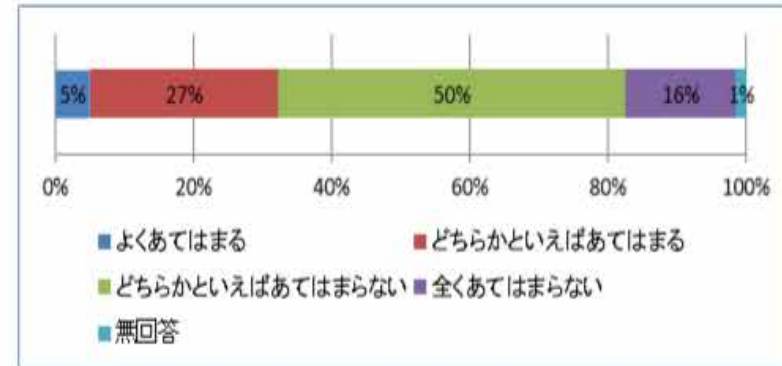


社会は変えたい、しかし・・・

現状を変えようと
するよりも
そのまま受け入れる
ほうがよい

青少年が
社会問題や政治問題に
参加することについて
あなたは
どう思いますか

日本では若者の声
が届けられていないと
思う

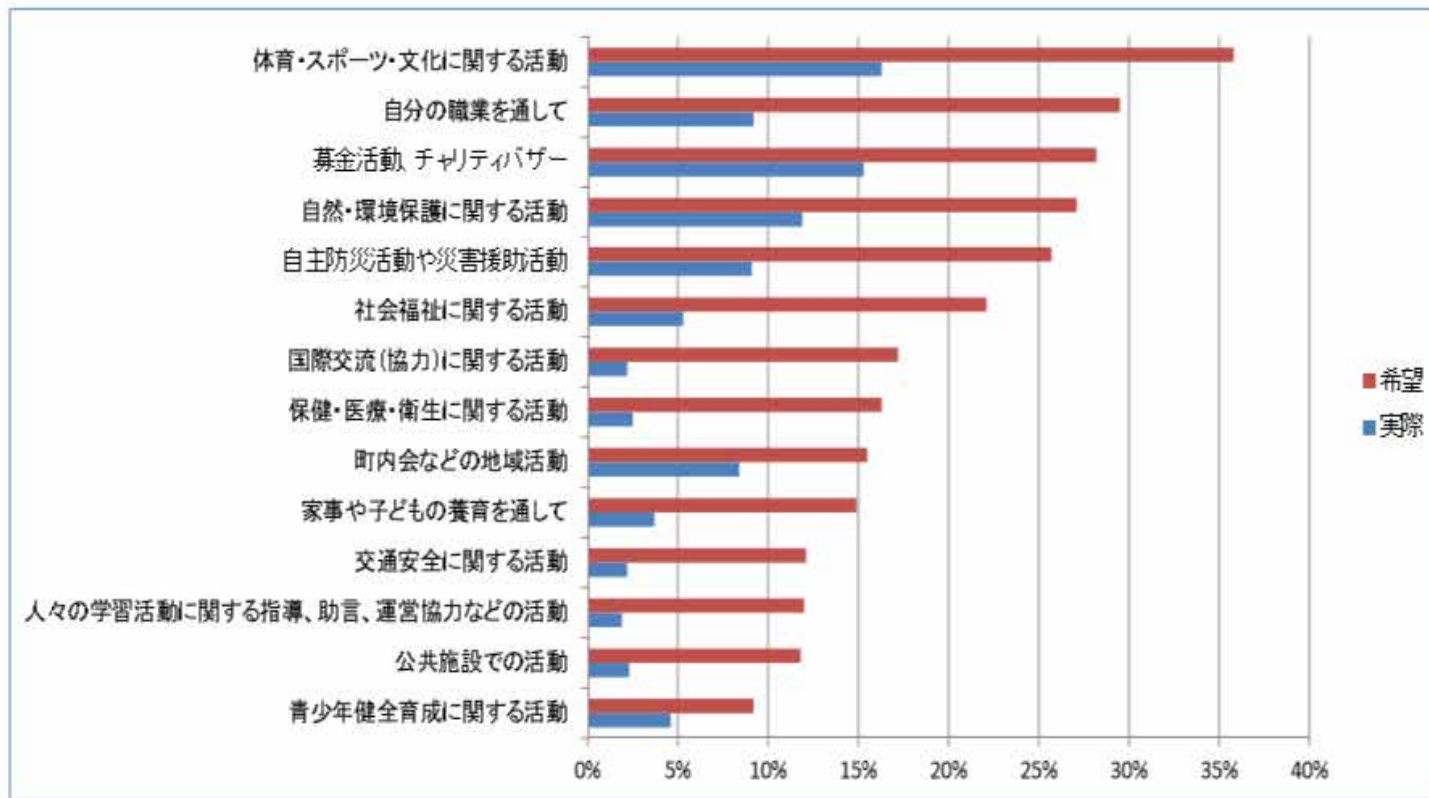


**若者は決して社会に対して
関心がないわけではない。**

やりたいけれどもやれていない

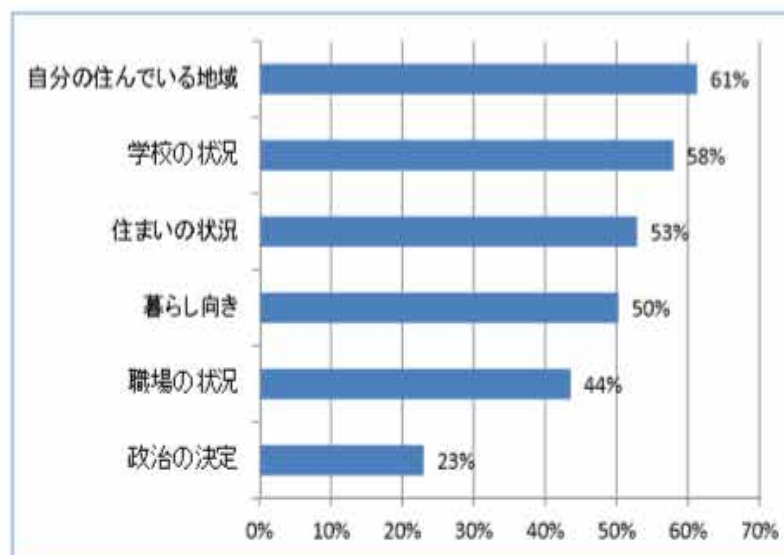
あなたが何か社会のために

- ① 役立ちたいと思っていること
- ② 実際に行っていることは何ですか

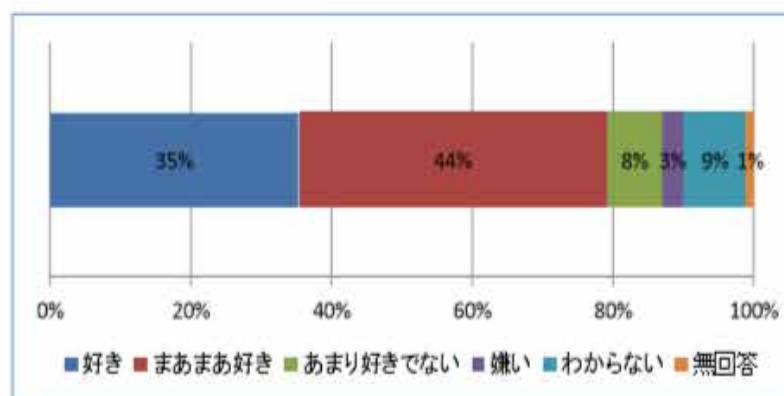


地域のことなら関与できそう

若者は次のことに
影響を与えられると
思いますか

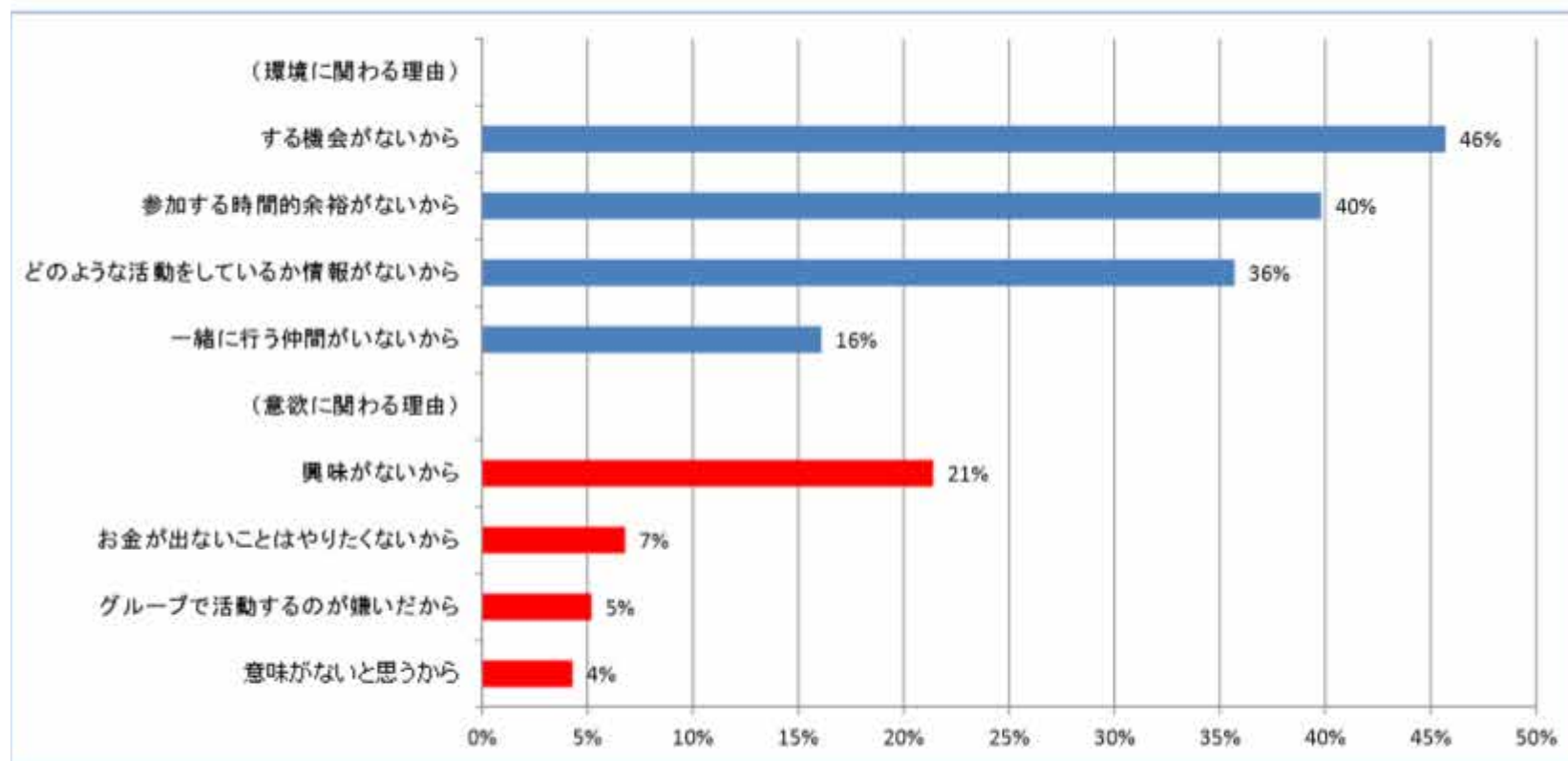


あなたは
あなたが今住んでいる
地域（市町）が
好きですか



意欲はあるが、条件が整っていない

社会のために役立ちそうなことを何もやっていない理由



社会参加の機会が与えていない。

どうすればいいんだらう？

俺には
どうせ...



誰かやってくれないかなー。

若者は力の欠如状態にある。

エンパワメントの重要性

「私たちにもできるんだ！」という自己肯定感

人間はみな生まれながらにみずみずしい個性、感性、生命力、能力、美しさを持っている。

- 「力をつける」ことではない。
- 内的な資源にアクセスすること。

Ex.) ブラックパワー
女性差別
福祉分野

エンパワメントの効果



なんかできる！

私たちがやらないと
いけないんだ！

社会参加とは？

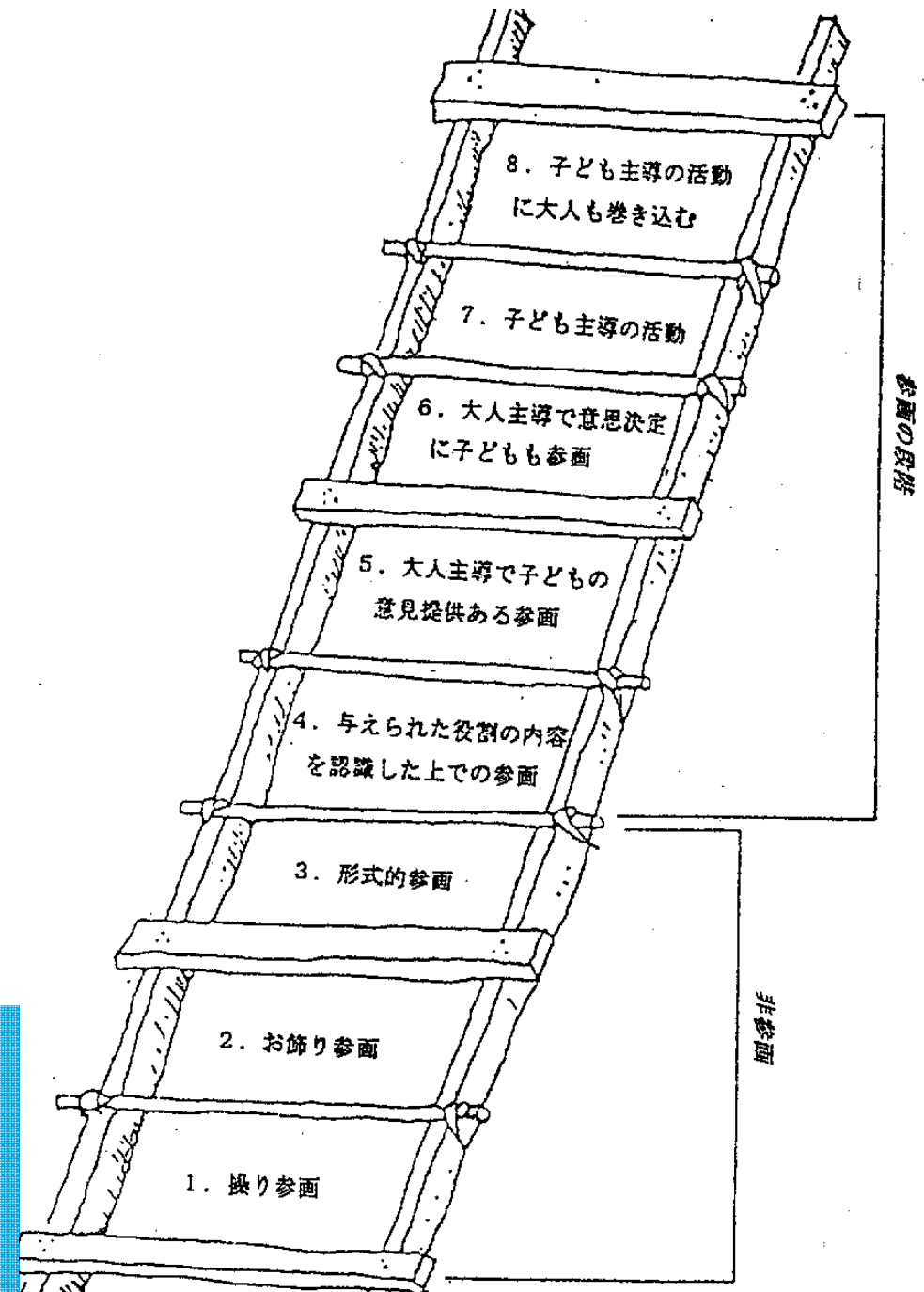
参加とは「影響力」

子どもと大人パートナー

「中高生は今を担うことができる。」

(せたがやっこ参画推進パートナーズ

理事長 櫻井龍太郎氏)



ロジャーハートの「参加のはしご」

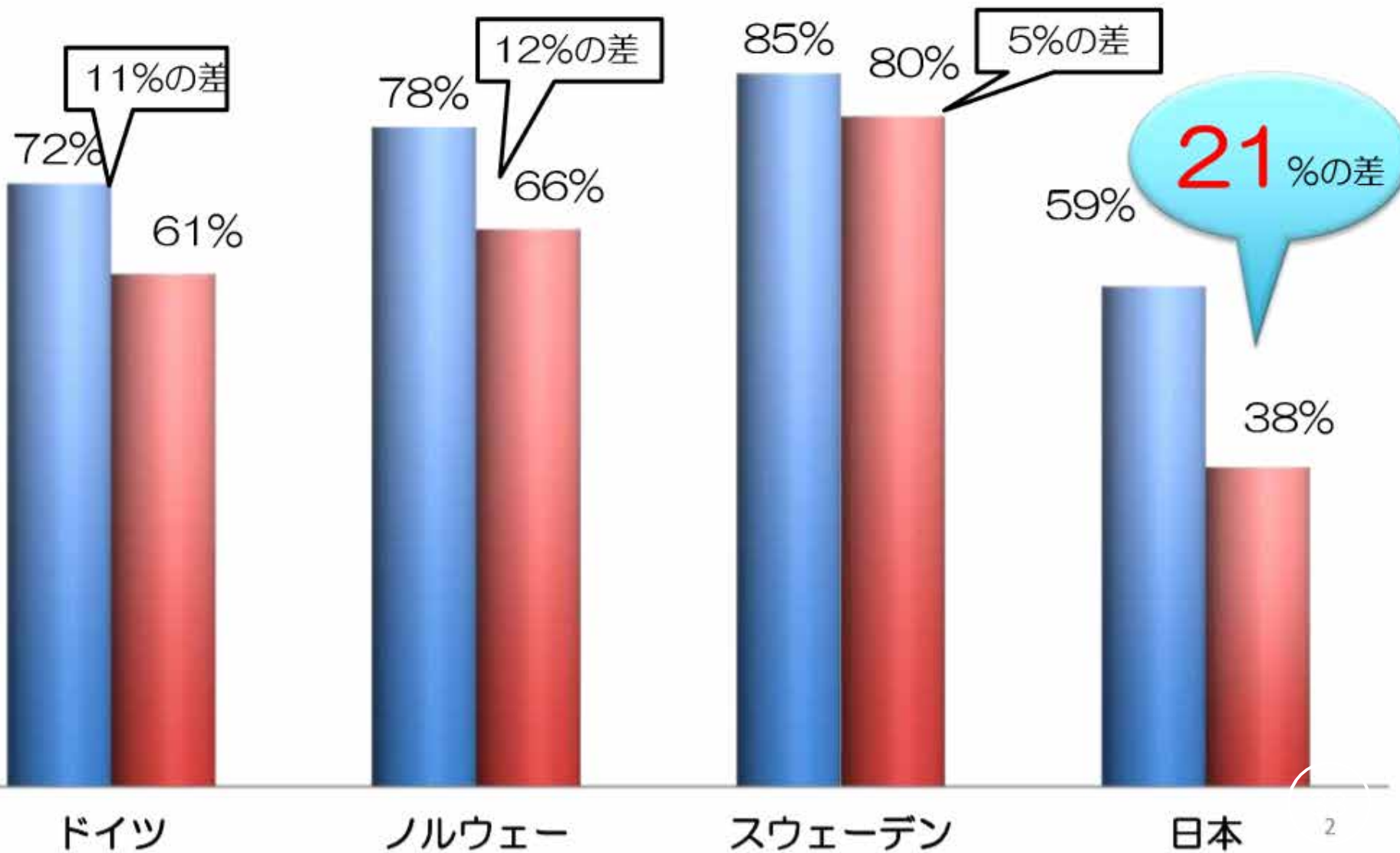
社会参加をどう促していくか？

北欧に学ぶ

スウェーデンの動画を見ましょう。

主要先進国における若者の政治参加

■ 全世代の投票率 ■ 若者の投票率 (30歳未満)



ユースワークとはなにか？

仲間づくりを通して、若者が社会参加主体へと育つ過程で必要なsocial ties(social capital)の形成を支援するノンフォーマル教育活動

←社会参加主体へと育つために、何が必要？
他者と社会への最低限の基本的信頼
=social capital

スウェーデンの今日の若者

影響力と代表制

- 18歳～21歳の若者の投票率 **79%** (2010年)
- 2012年の16歳から25歳の若者の政治活動参加率 **71%**
- **40%**の若者が自分の地域に影響を与えることに興味があり、**17%**が政治家に意思表示する機会があると感じている。

ユースセンターでの若者の参加

若者の社会的な影響力の発揮

